



リノベーションした広場・商店街

**花見川団地** 千葉県千葉市 “古い”と思われていた団地暮らしを、“自分に合った”暮らし方に変える

団地の良さを見直し、「こわしすぎず、つくりすぎない」コンセプトのもと、2012年からMUJI HOUSEと住戸改修の連携がスタート。2021年からは、団地の屋外施設や商店街区といった共用部までリノベーションの対象を広げ、地域コミュニティ

の形成にも連携して取り組む『MUJI×UR団地まるごとリノベーションプロジェクト』の第一弾を、施設の高齢化や商店街の賑わい減少が見られていた花見川団地で実施。団地を拠点とした地域生活圏の活性化を目指しています。



幼児安全法講習の様子

**水草団地** 愛知県名古屋市 互いの強みを生かした地域の課題解決

多様化する地域課題に対応していくため、地域の健康・安全な生活の追求等を目的として、日本赤十字社と包括協定を締結。水草団地では、子どもの事故や手当、乳幼児へのAEDの使い方等をレクチャーする幼児安全法講習を開催しました。

2023年からは、地域の小学生を対象に夏休み中の子どもが安心して過ごせる場所と体験機会を提供する「夏休み みんなの空き地プロジェクト」を実施するなど、互いに連携しながら地域課題に向き合っています。



サクラボの定例会

**左近山団地** 神奈川県横浜市 自治体×大学×URで取り組む、地域コミュニティの活性化

高齢化によりコミュニティの希薄化が課題となっていた左近山団地では、「左近山地区支えあいネットワーク」を結成。2017年に横浜市旭区・横浜国立大学・URが地域活動の担い手の確保と団地の活性化を目的とした連携協定を締結。

団地に居住する学生たちが地域活動を行う「サクラボ」を立ち上げ、地域のニーズと現状の分析を行いながら、長期的な視野でまちづくりを推進し、学生ならではの新鮮なアイデアが住民の活力につながっています。



団地を親子で散歩しながら楽しむイベント「おさんぽビンゴ」

**原団地** 福岡県福岡市 地域関係者と連携した人々の交流を育む環境づくり

原団地は、団地の魅力向上のため、自治会、幼稚園、社会福祉協議会等と連携しながら、豊かな屋外環境や集会所を活かして、地域の子どものから高齢者まで幅広い世代が参加できるイベントを開催。地域のニーズを踏まえて、健康広場や共同

花壇を整備するなど、団地を“地域の資源”として活用。団地を含む地域一体で、快適で暮らしやすい環境をつくることで、豊かなコミュニティが形成され、自然と人々の交流が生まれています。